

9 1 下水道使用料の統一に向けて 町下水道審議会から答申

下水道使用料の統一に関する町下水道審議会の答申がまとまり、小松崎三夫会長、大竹正雄副会長から上遠野町長へ答申書が手渡されました。

城里町の下水道使用料は、「町村合併後5年を目途に統一を図る」とされていましたが、現在も旧町村の使用料体系(3体系)が継続されたままです。

このため、今年2月に町長より統一・改定に向けての諮問を受け、同審議会が4回にわたり開催されました。

審議会では、使用料体系統一の基本的な考え方として、下水道利用者間の不公平を最小限に抑えることや、高齢者世帯など使用量の少ない世帯の負担が増えないこと、料金統一により影響を受ける人数を少なくすることなどに留意しつつ、慎重な審議が行われました。

※答申内容等は町ホームページ上で公開する予定です。



▶上遠野町長に答申書を手渡す小松崎会長と大竹副会長

町のマスコットキャラクター「ホロル」が ゆるキャラグランプリ2015に エントリーしています



1日1回投票できます

※詳細については下記のホームページをご覧ください。

ゆるキャラグランプリ2015

<http://www.yurugp.jp/>

投票はこちらから

<http://www.yurugp.jp/vote/>

日本地図上の「茨城県」をクリックすると、ホロルの投票画面が出てきます。

問合せ 城里町観光協会(産業振興課内)

☎029-288-3111(内線256)



まちのわだい



MY TOWN NEWS

8 17 城里町まち・ひと・しごと創生 有識者会議を開催しました

コミュニティセンター城里において、第1回城里町まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催しました。

この会議は、城里町創生総合戦略の策定に際し、様々な立場の方から広く意見をいただく事を目的としています。

委員には、町・議会関係者及び有識者、町内各団体の代表者など、年齢・職業が異なる30人を選任。第1回会議では、城里町の現状について説明を実施し、いろいろな意見が示されました。

同会議は、城里町創生総合戦略が策定されるまで全3回の予定で行われ、城里町創生総合戦略がより実効性が高い施策となるよう審議を重ねていくことになります。



8 23 夏休みの思い出に御前山ハイ キングとストーンアート体験

道の駅かつらで、御前山ハイキングとストーンアート体験が行われました。

国土交通省、城里町との共催で実施されたこのイベントには、町内外から親子連れなど約30人が参加しました。

参加者は、約1時間半をかけて御前山を散策した後、河原で拾った石にアクリル絵の具を使って好きな絵を描き、ストーンアートを楽しみました。

御前山に向けて出発! ▶



◀ストーンアート体験

9 14 高根区で合同防災訓練を実施

町と関係機関（警察、消防など）が協力し、合同防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、地震後の大雨による土砂災害を想定。会場となった高根区では、区民、地元消防団、自主防災組織にご協力をいただき防災無線による避難勧告指示の後、高根生活改善センターに指定緊急避難場所を設置し、区民が安全に避難できるよう、消防団や自主防災組織が、区内の見回り、避難支援を行いました。

また、同時に福祉避難所の災害協定を締結した桂聖明園と連携し、負傷者や要支援者の受け入れ訓練も行われました。



▲被害箇所の確認



▲非常食の配布



▲避難所での健康チェック

9 4.9 水戸桜ノ牧高校常北校で地方創生ワークショップを実施

水戸桜ノ牧高校常北校の2年生40名が地方創生のワークショップに取り組んでいます。

このワークショップは、城里町の抱える課題「人口減少、少子高齢化の現状とそれらの対策及び地域活性化策について」を高校生の視点で考え、地域の現状と課題を共有・理解してもらうことを目的とし、10月6日まで全3回の日程で実施しています。

第1・2回のワークショップでは、6班に分かれて生徒各自の意見やアイデアを付箋に書いて貼り、同種の意見をまとめていきました。

10月6日に実施予定の第3回ワークショップでは、これまで話し合ってきた意見を集約し、高校生の立場からの提言をまとめる予定です。

▶多くの意見が出され、活発な議論が行われました。



中学校体育祭 (9月5日)

2学期最初の土曜日に町内各中学校で体育祭が行われました。



工夫を凝らしたバトンリレー



みんなの声援を受けて頑張りました！



氷 桂中学校



勝利のキーワードは“一致団結”



常北中学校